

地域プラットフォームの構築に関する研究

—暮らしづくりと仕事づくりを焦点として—

倉敷市立短期大学 服飾美術学科
教授 岩崎 之勇

倉敷市立短期大学 服飾美術学科
講師 唐澤 克樹

1. 研究の目的

本研究の目的は、地場産業集積地帯であり、各主体がまちづくりに積極的な倉敷市児島地区を対象として、①暮らしづくり（定住と生活基盤の確保）と仕事づくり（雇用と起業の創出）に関する現在の取り組み状況の調査、②観光まちづくりと交流人口の増加に関する調査、③地域プラットフォームの先進事例の調査を行うことである。その上で、地域プラットフォームの構築に関しての提言を行う。

2. 研究内容

(1) 研究方法

①暮らしづくりと仕事づくりに関する現在の取り組み状況の調査

- ・各主体の取り組み状況の整理と必要に応じてのヒアリング調査

②観光まちづくりと交流人口の増加に関する調査

- ・観光、特に交流人口に関するアンケート調査

③地域プラットフォームの先進事例の調査

- ・先進事例として、アーバンデザインセンター神戸、横浜市、川崎市、岩手県、紫波郡紫波町などへのヒアリング調査（※感染症対策のため、この③に係る調査については本研究においては中止するに至った。）

(2) 調査内容

A. 暮らしづくりと仕事づくりに関する現在の取り組み状況の調査

○調査対象：倉敷市内にて現在、職業および住居を有する移住者2名である。

○調査方法：当該移住者個々に対する半構造的インタビュー調査（各人2時間程度）。

質問項目に関しては別紙1を参照されたい。

○調査内容：調査票に基づく調査項目は、おおよそ次の通りである。

①A群…フェイスシート（年齢、配偶者、家族構成、出身地など）

②B群…現在および過去の生活および就労状況

- ・移住前において、行っていた地域活動、職業、倉敷での観光・就労経験
- ・移住後において、住宅状況、外出目的・手段、現在の職業、Uターンなど

③C群…移住に関する項目

- ・移住を決心するに至った動機、理由
- ・移住のために利用した行政施策
- ・移住前からの児島地域との交流の有無
- ・将来のさらなる移住の可能性など

④自由インタビュー…以下のそれぞれのアウトライン

- ・児島・下津井地域に移住を決めた理由や生じた不安
- ・起業のための補助金
- ・児島・下津井での生活全般、物価、交通アクセス、医療体制
- ・観光地としての児島・下津井についての魅力・意見など

B. 観光まちづくりと交流人口の増加に関する調査

○調査対象：過去約10年以内に倉敷市内観光を経験した18歳から75歳までの日本全国の男女1024名（男性519名、女性505名）

○調査方法：ジャストシステム・ファストアスク・セルフ型ネットリサーチの使用による、保有データバンクモニターに対するWebアンケート調査（スクリーニング、本調査の二段階方式を採用）なお、特段の記載がない限り、回答はシングルアンサーである。

○調査内容

①基本属性

- ・性別、年齢、住所、地域、職業、未婚既婚、子供の有無

②実体調査

- ・日帰り宿泊の別、宿泊の場合の泊数、特に倉敷市内での泊数、宿泊施設、宿泊地域
- ・この旅行の主要目的
- ・この旅行のきっかけ
- ・この旅行の手配方法（自分で計画、ツアー参加等）
- ・同行者の数、その属性
- ・倉敷市へのこれまでの訪問回数
- ・向かった市内観光地
- ・そこへ向かうための交通手段

(3) 結果および考察

A. 倉敷市への移住者を対象とした調査結果について

移住に関するヒアリング調査をX氏とY氏に対して実施した。主な内容を下記にまとめる。

①移住の動機

X氏は、東京都からの移住である。美観地区のゲストハウスに泊まった際に、知り合った方から児島で開催されるジーンズ縫製実践講座を紹介してもらった。東京で仕事をしていたので、有休休暇を使いながら参加した。当初は、店舗兼工房の物件を借りて東京での起業も考えていた。しかし、素人ということもあって金融機関からの融資を得ることもできなかった。また、東京という土地柄なのか人気が高く競争率が高くなる。このとき、仕事を辞めていて、どうしようかと思ったとき、児島インキュベーションセンターのことを思い出した。問い合わせをしたら、たまたま部屋が空いていた。仕事を辞めていたので、特に考えずに問い合わせたことが今回の縁に大きくつながった。児島・下津井地区に移住するにあたって、しがらみもないので逆に移住することで自分の人生に希望が見えた。該センターの書類審査を通過して部屋への入居が決定した。該センターは幸か不幸かその時空室があったので入居することができた。人にあまり知られていない地方施設としての児島の良さ、地方の良さでもある。

Y氏は、千葉県からの移住である。元々、アパレルが好きで繊維産業の分野で起業しようと考えていた。YouTubeで児島の繊維産業に関する動画を見たことが児島に移住しようと思ったきっかけである。児島がジーンズで有名なことは知っていたが、移住するまで一度も来たことは無かった。児島は、自分の出身地と似た雰囲気もある。自分の地元よりもアパレル産業が発達していて、インキュベーション施設もあって良いと思っている。服好きからすればおもしろい場所だと思う。

②移住後の仕事と生活

X氏は、移住後すぐに児島駅近くのアパートに入居した。インキュベーションセンターの入居にあたっては、補助金制度を活用し、ミシンを購入した。該センターは、家賃や光熱費を考えたらず想以上に高いので、ある意味では補助金は不可欠だと考えている。また同じような目的で皆が集合している場所柄、人的ネットワークも構築しやすいことがメリットであろう。該センターは、売れるためのデニム製品を試行錯誤するのによい場所だと思う。スタートアップ期は資金こそあまりないが重要な期間で、このときに固定費を圧縮できることや人脈が広がるのはメリットである。現在は、事業と生活の場を下津井に移している。その経緯は、児島で知り合った人のつながりによる紹介であった。該センターにいたからこそ地域の諸団体や人とつながりができ、物件を紹介してもらうことができた。その際に、ジーンズストリートも選択肢にあったが、適当な場所が見当たらなかった。ミシンを置くスペースと店舗スペースを考えると、それなりの広さが必要となる。今、ジーンズストリートに良い物件があっても現在の環境で充分だと思っている。車がないと不便ではあるが、1時間に1本バスはある。児島駅の方へ出ればスーパーなどもある。近場に手軽に食べることのできる飲食店（例：ラーメン屋さんなど）があればいい。不便だと思うところもあるが、大きな不自由は感じていない。人に干渉されない、人に干渉しない場所でもある。適度な付き合いはある。

Y氏は、移住後すぐに児島駅近くのアパートに入居した。会社組織に属さず、あえて自営という道を選択した。インキュベーションセンターに入居し、繊維関係の仕事をしている。東京にも似たような施設はあるが、こちらのほうが生地などよく揃うし、加工場もあるので取引しやすい。ただ、当初はニットに関することをやりたかったが、近くに工場がないためできなかった。ニット産地が山形県になるのでここではできない。そのことは知らなかった。生活に関しては、移住関係の補助を得られた。児島駅近くに住んでおり、住みやすいと思っている。岡山方面へのアクセスも良い。日常の食品や生活用品は、児島駅近辺で揃う。飲食店や宿泊施設は少ないように感じる。車は所有しておらず、自転車での移動が中心である。坂道が多いので立ち漕ぎになることもある。しかし、自転車が好きなので交通に関して不便は感じていない。該センターを出た後にどのような身の立て方をしていくかについては未定である。

③プラットフォームに関して

X氏は、児島ではビジネス分野でのプラットフォームが必要だと言及する。地域プラットフォームは全国にあるが、うまくいくところが少ないと聞く。その理由は、実働と金銭の問題だと思っている。具体的な課題にぶち当たった時、解決策が見つけないのがあるようである。団体を作ることができても、運営は結構たいへんである。リーダーとお金の問題は大きいのではないか。その意味で、偶然が重なって下津井シービレッジはうまく機能している。もちろん、他地域でも少なからずうまくいっているところもあると聞く。児島全体でビジネス分野での共同ブランドや共同受注なども必要かもしれない。それが地域プラットフォームだと思う。

Y氏は、移住に関しての地域プラットフォームに言及している。県や市などが移住のPRしている。でも、これから移住を考えている人から見ると、どこに相談したらいいのかとなる。あっちにも、こっちにも窓口があって、一本化されていないのが現実だと思う。地域プラットフォームは聞いたことはあるが、こういったものはあれば仕事だとか、あるいは生活にとって便利になるかもしれないとのこと。移住する人にとっては、相談先が明確であるっていうのは重要。他と比べた時にもやっぱり強みになる。そこで親身になって聞いてくれるので、あればさらに相談したい、住みたいとなるように思う。だ

から、地域プラットフォームは意義があるのではないかと、このことである。

B. 観光まちづくりと交流人口の増加に関する調査結果について

①基本属性

1) 性別、年齢

SEX 性別

	n	男性	女性
総数	1024	519	505
(%)	100.0%	50.7%	49.3%

今回の調査対象者の性別、年齢構成は下表の通りである。男女比はほぼ半数ずつ、かつ年齢構成も各世代を満遍なく代表する抽出を行った。

GEN 年齢

	n	15歳未満	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳以上
総数	1024	0	170	176	176	167	159	176
(%)	100.0%	0.0%	16.6%	17.2%	17.2%	16.3%	15.5%	17.2%

2) 都道府県、地域

国内の各都道府県から調査対象者を抽出することができた。但し、使用した当該データベースの特質上、人数構成が大都市圏に集中していることもあり、地域的には関東・関西地方が多い結果となった。

PRE 都道府県

	n	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県
総数	1024	49	11	12	23	4	8	5	26	14	3	69	47
(%)	100.0%	4.8%	1.1%	1.2%	2.2%	0.4%	0.8%	0.5%	2.5%	1.4%	0.3%	6.7%	4.6%

東京都	神奈川県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府
136	89	7	10	10	3	3	15	20	21	54	13	12	22
13.3%	8.7%	0.7%	1.0%	1.0%	0.3%	0.3%	1.5%	2.0%	2.1%	5.3%	1.3%	1.2%	2.1%

大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県
85	60	17	9	6	2	11	24	10	4	3	11	5
8.3%	5.9%	1.7%	0.9%	0.6%	0.2%	1.1%	2.3%	1.0%	0.4%	0.3%	1.1%	0.5%

福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県
44	4	9	9	6	4	7	8
4.3%	0.4%	0.9%	0.9%	0.6%	0.4%	0.7%	0.8%

ARE 地域

	n	北海道	東北地方	関東地方	中部地方	近畿地方	中国地方	四国地方	九州地方
総数	1024	49	63	384	143	218	53	23	91
(%)	100.0%	4.8%	6.2%	37.5%	14.0%	21.3%	5.2%	2.2%	8.9%

3) 職業

会社員が4割近くを占めた。また学生が2割弱、専業主婦、およびパート・アルバイトが共に1割程度存在する。これらをまとめれば、有職者と無職者の比率はおおよそ7:3であった。

JOB 職業

	n	公務員	経営者・役員	会社員(事務系)	会社員(技術系)	会社員(その他)	自営業	自由業	専業主婦(主夫)	パート・アルバイト	学生	その他
総数	1024	34	18	160	125	106	54	27	125	104	176	95
(%)	100.0%	3.3%	1.8%	15.6%	12.2%	10.4%	5.3%	2.6%	12.2%	10.2%	17.2%	9.3%

4) 未既婚

未既婚比はほぼ半々となった。

MAR 未既婚

	n	未婚	既婚
総数	1024	546	478
(%)	100.0%	53.3%	46.7%

5) 子供の有無

子供有と無の比がおおよそ 4:6 である。上記未既婚のデータを考慮すると、あくまで単純計算ではあるが、既婚者のおおよそ 8.5 割が子供を有していると推察される。

CHI 子供の有無

	n	子供有り	子供無し
総数	1024	406	618
(%)	100.0%	39.6%	60.4%

②実態調査

1) 一番最近行った倉敷市内への観光旅行(この旅行)が、日帰りまたは宿泊だったかについて

	n	日帰り	宿泊
総数	1024	536	488
(%)	100.0%	52.3%	47.7%

結果としては、日帰り、宿泊がほぼ半数同士となった。調査対象者が満遍なく全国各地から来訪している点を考慮すれば、日帰り客の多さには不思議さが残る。

2) この旅行で宿泊された方への質問で、何泊だったかについて

	n	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上
総数	488	279	145	37	5	22
(%)	100.0%	57.2%	29.7%	7.6%	1.0%	4.5%

宿泊者のおおよそ半分強が1泊であった。2泊以下で9割近くを占めた。

3) この旅行で宿泊された方への質問で、全宿泊日数のうち倉敷市内に何泊したかについて

	n	0泊	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上
総数	488	144	253	67	7	4	13
(%)	100.0%	29.5%	51.8%	13.7%	1.4%	0.8%	2.7%

この旅行で宿泊した観光客のうち、約3割は倉敷市内で無宿泊だった。

4) この旅行で倉敷市内に1泊でも宿泊された方への質問で、どの宿泊施設を利用したかについて
(無制限マルチアンサー)

ほとんどの宿泊客が旅館とホテルを利用していた。中でもホテルが突出していた。

	n	旅館	ホテル	ゲストハウス	ペンション・民宿	別荘・リゾートマンション	キャンプ場	(キャンプ場以外の)車中泊・交通機関内での宿泊	会員制の宿泊施設	公共の宿	ユースホステル・ライダースイン	その他
総数	344	94	251	14	11	10	10	7	7	8	8	7
(%)	100.0%	27.3%	73.0%	4.1%	3.2%	2.9%	2.9%	2.0%	2.0%	2.3%	2.3%	2.0%

5) この旅行で倉敷市内に1泊でも宿泊された方への質問で、どの地域に宿泊したかについて

(無制限マルチアンサー)

美観地区内が最も多く、次いでその周辺地域での宿泊が大半を占めた。その他の地域においては宿泊施設の絶対数が少ないことが結果に影響しているものと考えられる。

	n	美観地区	美観地区以外の倉敷駅周辺地域	水島地域	児島地域	玉島地域	真備・船穂地域	その他の地域
総数	344	180	129	41	33	17	19	16
(%)	100.0%	52.3%	37.5%	11.9%	9.6%	4.9%	5.5%	4.7%

6) この旅行の主要な目的が何であったかについて

(回答数3までのマルチアンサー)

自然見物街歩きが多数を占めた。これは美観地区観光者の回答が影響しているものと考えられる。また、名所旧跡についても美観地区内の建造物等の観光が推測される。

	n	自然見物・街歩き	休養・慰安	祭り・イベント	登山・アウトドア・キャンプ	スポーツ(観戦含む)	グルメ(食事)	神仏・霊場巡り	買い物	名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	なんとなく(ドライブ含む)	その他
総数	1024	463	184	86	56	41	270	60	142	273	170	31
(%)	100.0%	45.2%	18.0%	8.4%	5.5%	4.0%	26.4%	5.9%	13.9%	26.7%	16.6%	3.0%

7) この旅行を思い立ったきっかけについて

一度来たかった・家族等の希望によるものが一番多かった。このことは倉敷ブランドが全国的にある程度知れ渡っていることの証とも受け取ることができる。また知人・友人の話を聞いて、倉敷観光の良さを口コミ情報として知ること、来訪のきっかけとなっている点が多いことが注目される。

	n	知人・友人の話を聞いて(SNSを含む)	前回来てよかったから	Youtube等の動画配信サービスを見て	インターネット検索	TV・ラジオ・雑誌等	パンフレット・キャンペーン等	旅行業者の紹介・ツアー参加	一度来たかった・家族等の希望	その他
総数	1024	195	83	65	129	53	41	54	360	44
(%)	100.0%	19.0%	8.1%	6.3%	12.6%	5.2%	4.0%	5.3%	35.2%	4.3%

8) この旅行の企画・手配について

自分で旅行プランを立て、施設・交通機関の予約をした観光客が7割近くを占めた。宿予約サイ

	n	自分から旅行プランを立てて、宿泊・交通機関なども自分から手配した。	旅行プランを決めて、宿泊や倉敷への往復には旅行代理店のフリープランを使った。	旅行代理店でコースが決まっている添乗員付きの旅行プランを使った。	その他
総数	1024	674	165	140	45
(%)	100.0%	65.8%	16.1%	13.7%	4.4%

トの近年の充実、国内旅行、かつ観光地が美観地区に集中しているため、倉敷駅を起点にプランを立てるのが容易であることが影響しているものと考えられる。

9) この旅行を何人で行ったかについて

家族、その他のケースが想定されるが、いずれにしろ2人旅が4割を占めた。

	n	自分ひとり	2人	3人	4人	5人	6人~10人	11人以上
総数	1024	181	428	179	124	43	28	41
(%)	100.0%	17.7%	41.8%	17.5%	12.1%	4.2%	2.7%	4.0%

10) この旅行を2人以上で行った場合において、どんなカテゴリーの人達と行ったについて

※子供や乳幼児も含まれます。

(無制限マルチアンサー)

	n	家族	パートナー	友人	職場・学校等の団体旅行	その他
総数	843	469	201	181	59	13
(%)	100.0%	55.6%	23.8%	21.5%	7.0%	1.5%

家族旅行が約半数を占めた。また、上記2人での旅行の半分はパートナーとの旅行であることが分かった。

11) この旅行が、回答者にとっての倉敷市への何回目の訪問であったかについて

	n	はじめて	2回目	3回目以上
総数	1024	732	180	112
(%)	100.0%	71.5%	17.6%	10.9%

初めてが7割を占めた。倉敷の知名度は高いが、幾分リピート率が低いようにも感じられる。

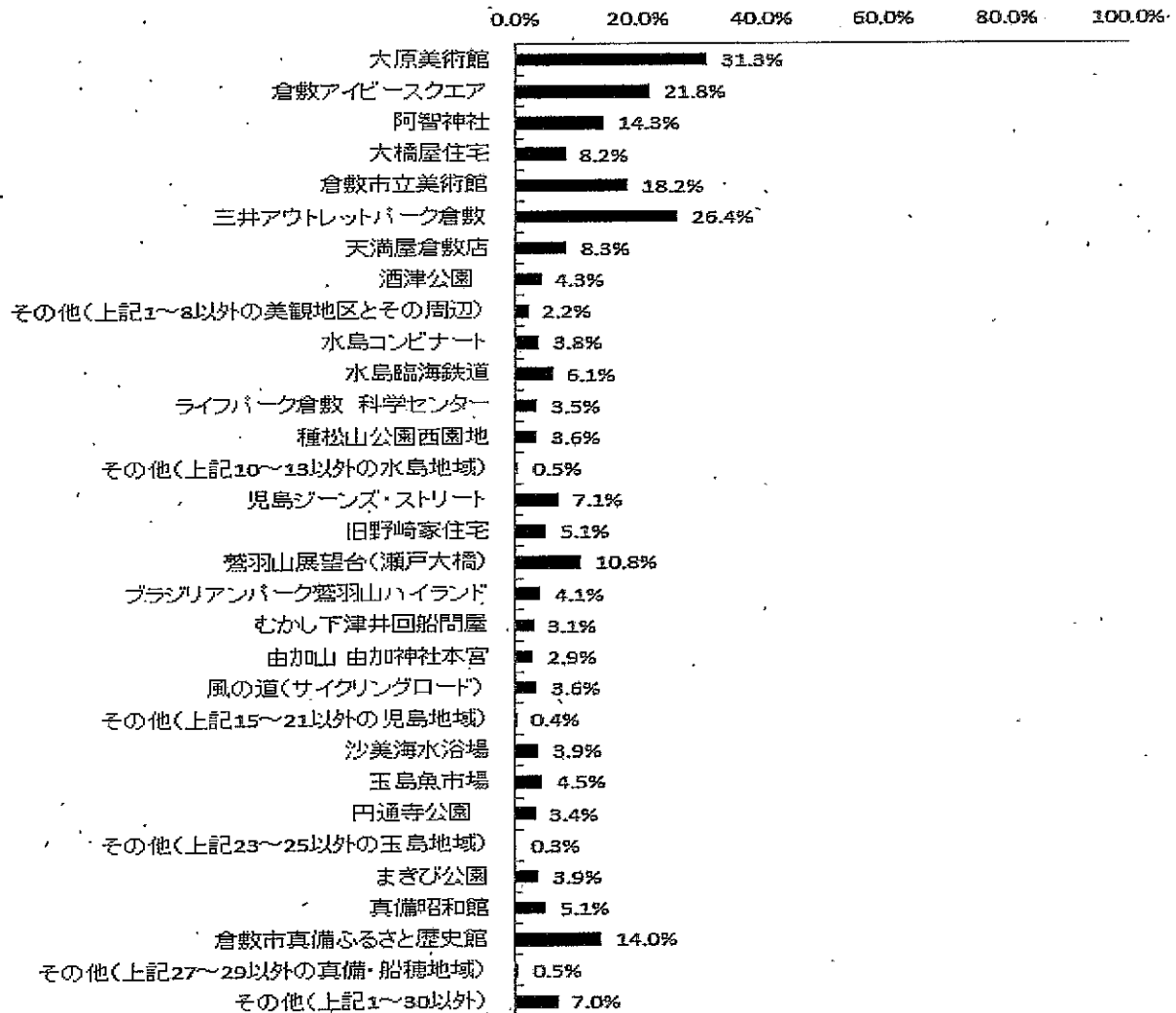
12) この旅行で、訪れた倉敷市内のすべての観光地について

(無制限マルチアンサー)

美観地区とその周辺地域に集中している。大原美術館、倉敷アイビースクエアは見物の定番と考えられる。一方、三井アウトレットパークはおそらく買物が主目的となる。倉敷市立美術館が比較的高いのは、真横すぐが観光バスターミナルとなっているため時間合わせし易いことなどが影響しているものと考えられる。

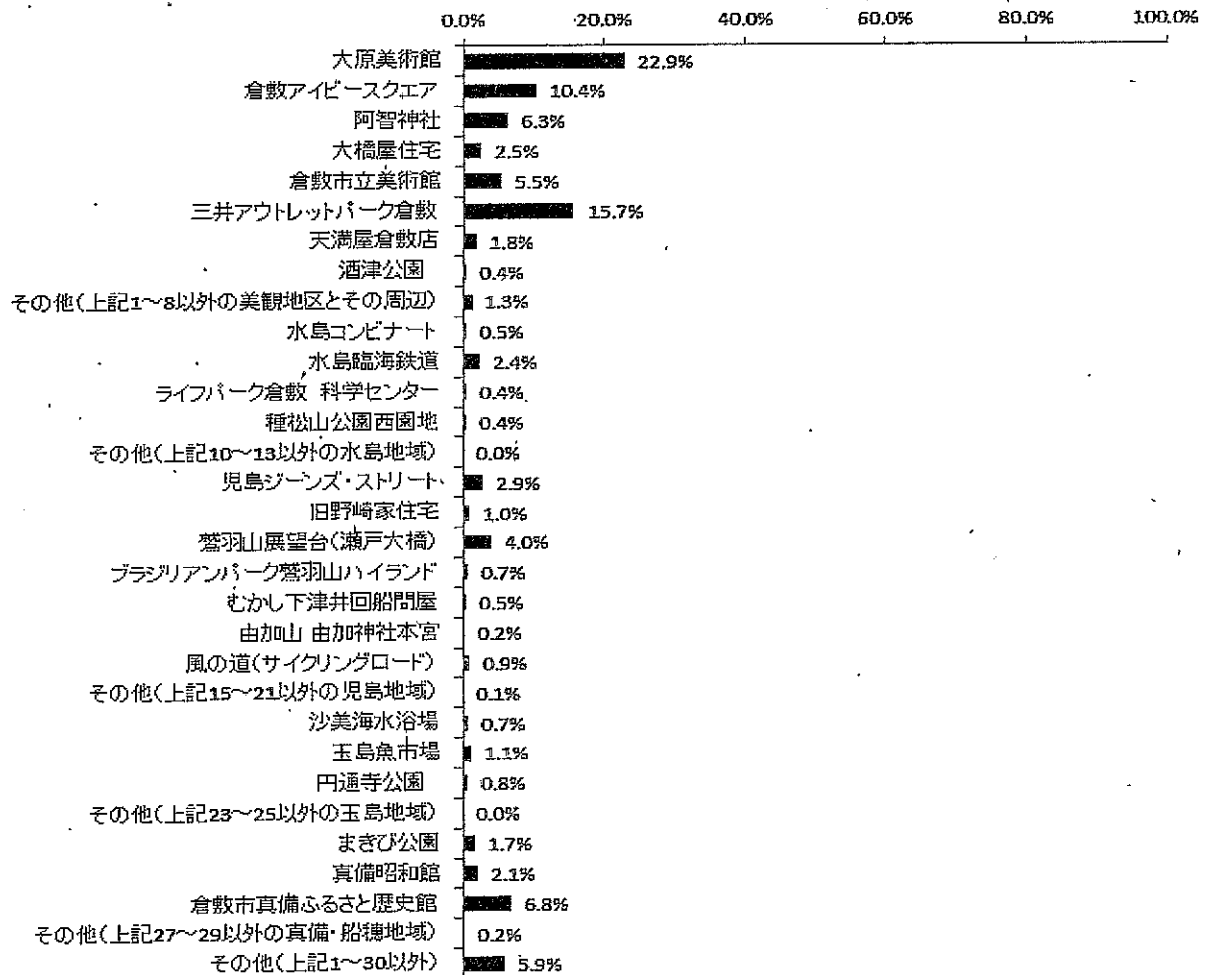
児島地区ではジーンズストリートが相対的にいくぶん高いが、比較的马ニア向けであり、かつ取扱商品が高価である点が影響しているのかも知れない。

倉敷市真備ふるさと歴史館が比較的高い点は注目に値する。



13) この旅行で、最初に訪れた倉敷市内の観光地について

各観光地の棒グラフ長さの比率的には上記12)と同様な傾向を示した。但し、双方での棒グラフの長さの縮み具合から、美観地区とその周辺に関して言えば、大原美術館は最初に訪問する観光施設であるが、大橋屋住宅などはそうではなさそうである。また、美観地区以外の地域においてはその傾向が強く、まずは美観地区などの中心部を観光した後に、かような地域へ観光の足を延ばしているように見受けられる。



14) この旅行で、訪れた倉敷市内のそれぞれの観光地へ向かうために利用した主な交通手段について
(回答数2までのマルチアンサー)

美観地区へのアプローチでは、JR新幹線、在来線を乗り継ぐ方法、または自家用車かレンタカー利用型に大別される。飛行機はあまり利用されていない。レンタカーに関しては他の観光地を訪問するために倉敷駅等でレンタルした場合は推測される。美観地区内の移動として徒歩も活用されている。一見観光施設とは解されにくい倉敷市立美術館への観光客数も多く、また自家用車、レンタカーがよく利用されているが、これは観光バスターミナル、美観地区地下駐車場に隣接していることが好条件となっているのかもしれない。三井アウトレットパーク倉敷へは訪問客数も多く、自家用車でのアプローチが多い。

水島地区への観光客数は美観地区の10分の1の規模である。水島コンビナートおよび水島臨海鉄道へのアプローチとしては当該鉄道の利用が際立つ。当該沿線から遠のく当該地区施設へは最終的には自家用車かレンタカーが必要である。

児島地区への観光客数は美観地区の4分の1の規模である。JR新幹線、在来線よりも自家用車、レンタカーの利用比率が高い。ジーンズ・ストリートは当該地区では他の観光施設とは異なり鉄道利用がいくぶん高く、明確なジーンズ購買目的を持って岡山駅から瀬戸内線にて直接来訪している可能性がある。鷺羽山展望台とブラジリアンパーク鷺羽山ハイランドは当然ながら自家用車利用が

多い。むかし下津井回船問屋は鉄道から少し離れているがJR利用が目立つ。また自転車利用もあるがJR利用客とは別の動き方かもしれない。

玉島地区も自家用車、レンタカー利用が多い。沙美海水浴場は季節性があり、玉島魚市場は時間性のある観光地である。そのため、後者はタクシー、ハイヤー利用客が多いのかもしれない。

真備地区もJR新幹線、在来線利用と、自家用車、レンタカー利用が多い。特にまきび公園へは観光バスと自転車利用が特徴的である。注目に値するのが倉敷市真備ふるさと歴史館である。かなりの数の来客数の原因が当該館の主要展示物である横溝正史に由来するものか否かは不明である。当該施設へのアプローチでは自家用車以外には観光バス単独、鉄道と市内バスとの組み合わせなどが推測される。

	n	JR 新幹 線	JR 在来 線	水島 臨海 鉄道	井原 鉄道	貸切 バス	高速 バス	観光 バス	市内 バス 路線 バス	タクシ ー ハイ ヤー	レンタ カー	自家 用車	飛行機	客船	バイク	自転車 (電動式 を含む)	徒歩	その他
大原美術館	321	27.4%	19.9%	3.4%	1.6%	5.6%	0.9%	4.0%	5.3%	5.9%	10.9%	22.4%	0.9%	0.9%	0.0%	0.3%	9.7%	2.2%
倉敷アイビースクエア	223	20.2%	25.6%	3.6%	2.7%	5.8%	2.2%	5.4%	4.9%	5.4%	10.8%	21.5%	3.6%	0.9%	2.2%	0.4%	9.0%	0.9%
阿智神社	146	14.4%	21.2%	4.8%	6.2%	4.1%	2.1%	2.7%	7.5%	6.8%	19.2%	20.5%	2.7%	2.7%	0.7%	2.1%	5.5%	4.1%
大橋屋住宅	84	14.3%	27.4%	7.1%	3.6%	7.1%	2.4%	6.0%	3.6%	3.6%	11.9%	14.3%	4.8%	6.0%	2.4%	3.6%	9.5%	2.4%
倉敷市立美術館	186	13.4%	17.2%	3.2%	2.2%	3.2%	0.5%	6.5%	5.9%	7.5%	18.8%	20.4%	1.6%	1.6%	2.2%	1.1%	9.1%	1.1%
三井アウトレットパーク 倉敷	270	13.7%	15.9%	1.1%	0.7%	2.2%	0.7%	3.0%	5.2%	3.3%	19.3%	35.2%	1.5%	1.1%	0.4%	1.1%	4.4%	2.6%
天満屋倉敷店	85	16.5%	18.8%	2.4%	2.4%	2.4%	1.2%	4.7%	3.5%	8.2%	17.6%	20.0%	3.5%	3.5%	1.2%	1.2%	10.6%	1.2%
酒津公園	44	18.2%	25.0%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	6.8%	11.4%	15.9%	20.5%	2.3%	2.3%	0.0%	4.5%	6.8%	0.0%
その他(上記1~8以外の 美観地区とその周辺)	23	21.7%	17.4%	0.0%	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	43.5%	4.3%	0.0%	0.0%	0.0%	17.4%	8.7%
水島コンビナート	39	20.5%	20.5%	12.8%	0.0%	2.6%	5.1%	5.1%	7.7%	0.0%	7.7%	17.9%	7.7%	2.6%	5.1%	2.6%	2.6%	5.1%
水島臨海鉄道	62	24.2%	30.6%	19.4%	3.2%	1.6%	3.2%	4.8%	1.6%	3.2%	17.7%	6.5%	4.8%	3.2%	1.6%	3.2%	1.6%	3.2%
ライフパーク倉敷 科学センター	36	16.7%	22.2%	5.6%	2.8%	5.6%	2.8%	0.0%	2.8%	8.3%	13.9%	25.0%	5.6%	2.8%	0.0%	5.6%	2.8%	0.0%
種松山公園西園地	37	10.8%	16.2%	2.7%	5.4%	5.4%	0.0%	5.4%	5.4%	5.4%	21.6%	16.2%	2.7%	5.4%	0.0%	8.1%	5.4%	2.7%
その他(上記10~13以外 の水島地域)	5	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
児島ジーンズ・ストリート	73	16.4%	23.3%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	5.5%	4.1%	23.3%	26.0%	1.4%	0.0%	0.0%	2.7%	11.0%	2.7%
旧野崎家住宅	52	11.5%	13.5%	1.9%	0.0%	1.9%	3.8%	3.8%	7.7%	9.6%	21.2%	23.1%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	3.8%	1.9%
鷲羽山展望台(瀬戸大橋)	111	11.7%	14.4%	0.0%	0.9%	0.9%	0.9%	3.6%	8.1%	9.0%	18.0%	40.5%	1.8%	0.0%	0.0%	2.7%	1.8%	0.0%
ブラジリアンパーク鷲羽山 ハイランド	42	11.9%	16.7%	4.8%	0.0%	4.8%	7.1%	0.0%	7.1%	4.8%	14.3%	33.3%	7.1%	0.0%	2.4%	4.8%	0.0%	2.4%
むかし下津井回船問屋	32	21.9%	18.8%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%	6.2%	0.0%	9.4%	18.8%	15.6%	3.1%	6.2%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%
由加山 由加神社本宮	30	16.7%	16.7%	10.0%	3.3%	3.3%	0.0%	10.0%	3.3%	6.7%	16.7%	16.7%	3.3%	10.0%	3.3%	6.7%	0.0%	3.3%
風の道 (サイクリングロード)	37	18.9%	18.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	2.7%	24.3%	13.5%	10.8%	10.8%	5.4%	8.1%	5.4%	2.7%
その他(上記15~21以外 の児島地域)	4	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
沙美海水浴場	40	17.5%	10.0%	2.5%	5.0%	2.5%	5.0%	10.0%	7.5%	2.5%	20.0%	22.5%	2.5%	2.5%	0.0%	2.5%	2.5%	5.0%
玉島魚市場	46	17.4%	13.0%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	4.3%	4.3%	13.0%	21.7%	28.3%	2.2%	0.0%	4.3%	4.3%	4.3%	0.0%
円通寺公園	35	14.3%	11.4%	8.6%	0.0%	2.9%	2.9%	2.9%	5.7%	8.6%	11.4%	34.3%	8.6%	5.7%	5.7%	2.9%	5.7%	0.0%
その他(上記23~25以外 の玉島地域)	3	66.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
まきび公園	40	17.5%	10.0%	2.5%	2.5%	0.0%	5.0%	7.5%	7.5%	5.0%	15.0%	20.0%	10.0%	0.0%	5.0%	10.0%	5.0%	5.0%
真備昭和館	52	23.1%	19.2%	3.8%	1.9%	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	5.8%	19.2%	19.2%	3.8%	1.9%	1.9%	1.9%	7.7%	7.7%
倉敷市真備 ふるさと歴史館	143	14.0%	14.0%	0.0%	1.4%	5.6%	2.1%	5.6%	9.8%	9.1%	9.8%	17.5%	4.9%	2.8%	0.7%	2.1%	5.6%	11.9%
その他(上記27~29以外 の真備・船穂地域)	5	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他(上記1~30以外)	72	13.9%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	4.2%	0.0%	4.2%	4.2%	36.1%	1.4%	0.0%	1.4%	1.4%	4.2%	27.8%

(4) まとめ

移住者に対するインタビューからは、プラットフォーム設立に関しては、兎にも角にもまずはリーダーとお金の問題を危惧するようである。つまりリーダーとしてどのような者を選出するか、資金源をど

うするかである。そしてかようなプラットフォームをうまく活用し、地域に優れたインキュベーション施設が存在することを地元との連携の下、広くアピールし、共に関東から移住し児島の繊維産業で起業しているX氏、Y氏のように遠方からも移住者を吸引、そして地元児島で起業することが重要となる。幸い両者に関しては児島地区のジーンズなどデニム製品やその関連企業の知名度の高さが移住につながっていると考えられる。しかし、X氏が言うようにインキュベーション施設があるにも関わらず、その認知度を十分活かし切れていないとも言える。ここ児島には東京にはない魅力すなわち家賃の安さ、補助金の活用、取引先の開拓や人脈の構築などをよりPRしていくことが今後さらに必要となろう。

また、Y氏のように移住に向けての相談窓口が一本化できていないとの意見も尊重すべきであろう。新住居、就職、インキュベーション施設入居、起業に必要な補助金、そして賃貸テナント斡旋等、移住者に対してなお一層フレンドリーなワンストップで対応可能なプラットフォーム構築が望まれる。

観光客に対するアンケート調査からは、まず倉敷市へのアプローチにおいて飛行機利用が少なく、したがって国内遠方客の集客が課題として浮かび上がる。

次に、倉敷市へのアプローチ後においては、陸路では倉敷市街地から市内各観光施設への移動の際、市内バス、路線バスの利用が少ない。これは公共交通手段の不便さを如実に物語っている。特に歴史地理学的には児島はもともと倉敷よりも岡山との結びつきが強いという。現在の倉敷市の交通網を見てもそれは明らかであり、児島へは岡山駅からマリナーが非常に便利である。この点は先述の移住者インタビューにおいても指摘されており、特に通勤通学時間帯は乗車時間が長いことと併せバス内が相当混むことから、まず観光客がバスを利用して観光地に向かうことにはかなりの困難性を伴うだろう。したがって、公共交通手段に関しては生活用と観光用の2ルートの開発が望まれる。

特に観光開発の意味では海路を新たに開発し、観光に結び付けることはできないか。下津井は児島からは山越えの独特なロケーションであり、下津井には漁港がある。双方を船で結ぶことで新たな観光資源の開発の可能性を探るのは価値があるように思われる。更には水島コンビナート観光を目的として海路を水島港まで延長する。夜は工場夜景が楽しめるのは大きな価値がある。決して現時点では夢物語の域を出ないが、バス、船、鉄道を乗り継いだ市内観光地ループルートが開発できるようなプラットフォームの構築があってもよい。このように陸路、海路の開発整備により、倉敷市全体として各観光地を有機的に結び付け、美観地区を中心として、そこ以外の観光地を共に盛り上げていく施策とそのための関係者が集えるプラットフォーム作りは無視できないであろう。

なお本報告書においては、特に②「観光まちづくりと交流人口の増加に関する調査」で行ったアンケート調査の分析では、単純集計データの分析に終始した。今後はクロス集計などを取り入れ、観光客の詳細な市内観光ルートと利用交通手段の追跡など、さらに詳細なデータ分析を行い、より学術的価値の高い成果物を生産する所存である。

以上

1. アンケート
A群
1. あなたの性別を選択してください。
2. あなたの年齢を選択してください。
3. あなたに配偶者はいますか。有無を選択してください。
4. 転居前のあなたの家族構成を選択してください。
5. 転居後（予定）のあなたの家族構成を選択してください。
6. 転居前のあなたの世帯の人数を記入してください。
7. 転居後（予定）のあなたの世帯の人数を記入してください。
8. あなたのご出身の（生まれ育った）地域について、都道府県・市区町村の名称をご記入ください。
9. あなたが転居する前にお住まいだった地域について、都道府県・市区町村の名称をご記入ください。
10. あなたが転居後にお住まいの地域について、都道府県・市区町村の名称をご記入ください。
B群
11. 移住前は、地域の自治会や市民団体などで地域活動を実践していましたか。
12. 移住前に、見島・下津井地域にお仕事や観光などで来たことはありますか。
13. 移住をお考えの際に、どのような情報源へアクセスしましたか。
14. 移住するにあたって、居住に関わる補助金や金融などの制度を活用されましたか。
15. 今住んでいる住宅は（持ち家、賃貸、一戸建て、アパート等）？
16. 現在の場所に移り住んで何年になりますか？
17. 主な外出目的は？（買い物、私用、通学、通院など3つまで選択可）
18. 主な外出手段は？（自動車、自転車、徒歩、タクシーなど3つまで選択可）
19. お住まいから最寄りの駅やバス停まで、歩いて何分かりますか？
20. あなたは、Uターン、Iターン、Jターンのいずれかに該当しますか。
21. 転居前のご職業を教えてください。
22. ご職業が複数の場合は本業以外の職業を教えてください。
23. 【問22で職業有の場合】 転居前のご職業（複数の場合は本業）の就業形態を教えてください。
24. 転居後のご職業（ご職業として予定されているもの）を教えてください。
25. ご職業が複数の場合は本業以外の職業を教えてください。
26. 【問24で職業有の場合】 転居後のご職業（複数の場合は本業）の就業形態を教えてください。
C群
27. 新しくお住まいの地域に転居される際、地域の魅力や農山漁村地域（田舎暮らし）への関心が、転居の動機となったり、地域の選択に影響したとお考えですか。
28. 【問27で影響した人のみ】 現在お住まいの地域に移住したのはなぜですか。複数
29. 【問27で影響した人のみ】 以下の行政施策のうち、現在お住まいの地域に移住される際に利用したもの（または利用される予定のもの）は何ですか。
30. 【問27で影響した人のみ】 移住する際、重視した条件は何ですか。
31. 【問30で何かを重視した人のみ】 その中で、最も重視したことは何ですか。
32. お住まいの地域に転居されたのは、どのようなタイミングでしたか。
33. 現在お住まいの地域に転居される前から当該地域と交流や繋がりはありましたか。
34. 【問33で交流等があった人のみ】 どのような交流や繋がりがありましたか。
35. 今後、他の地域に転居する可能性について教えてください。
36. 【問35で可能性ありの人のみ】 その理由やお考えの転居先地域などを教えてください。
37. 上で「転居の予定はない」を選択された方へ。最も大きな選択理由は？（経済的理由、仕事や学校の
38. 移住後は、地域の自治会や市民団体などで地域活動を実践していますか。また、地域活動としてやりましたことはありますか。
II. インタビュー
39. 見島・下津井地域に住むことを決めた理由を教えてください。また、他の地域と比較しましたか。
40. 移住することに対して、どんな不安がありましたか。
41. （被雇用者向け）仕事はどのように探しましたか。
42. （自営者向け）起業するにあたって、補助金や金融の制度など起業家支援の制度を活用されましたか。
43. 見島に移り住んでみて、どういった点が期待通りでどういった点が期待外れでしたか？
44. 見島には就業可能な仕事があるほうだと思いますか？
45. 見島の物価（食品、住居、衣服）や生活コストはいかがですか？
46. 欲しい物品は不自由なく入手できますか？特に地産品（肉、魚、果物等）を十分楽しめていますか？
47. 見島の交通アクセス（目的地までの鉄道網・ダイヤ、道路網・渋滞状況等）はいかがですか？
48. 移出の買い物は倉敷駅周辺街地、岡山駅周辺市街地どちらが多いですか？また、どのように使い分けしていますか？アプローチの交通手段は？
49. 見島に移り住んで、医療サービスは向上または低下しましたか？また、どういった点にメリットを感じ、どういった点に不満を感じますか？
50. 見島の行政サービス（学校、公民館、図書館、道路、河川等のインフラ、生涯学習、補助金など）で良い点悪い点等、何か気づく点がありますか？
51. テレビ、ラジオ、Webその他、情報の得られ方については移り住んでみていかが感じましたか？
52. 「観光地見島」と言った場合に、誇れるところ、無理があるところなどどうでしょうか？
53. もっと見島に観光客に来てもらうには、今の見島には何が足りないと思いますか？
54. 見島の魅力は一言で言って何でしょうか？
55. 見島に足りないものは一言で言って何でしょうか？
56. ご自身の体験を踏まえ、都市部から見島（農山漁村地域）への移住者を増やすために必要だと思う支援や有効だと思う取組などがあれば、ご記入ください。自由
57. 移住、定住、観光などまちづくりにおける地域プラットフォームづくりの必要性が各地でいわれています。地域の情報を集約し発信する役割を果たす組織のことが指しますが、見島・下津井地域においても必要でしょうか？